

オオダイガハラサンショウウオ

Hynobius boulengeri

サンショウウオ目 サンショウウオ科

カテゴリー

大分県 地域個体群

環境庁 地域個体群



両
生
類

生息地は、祖母・傾山系の標高500～1500mの渓流域。成体の体長は16～20cmで、なす紺色をしている。5月中旬、溪流の石の下面に産卵し、幼生は水生昆虫類の幼虫やヨコエビなどを捕食する。ほとんどの幼生は越冬し、翌年9月ごろまでには変態し、陸上で生活するようになる。ソハヤキ要素の動物。祖母・傾山系のもは、紀伊・四国産より小型の傾向を示し、地域個体群としての特性がみられる。森林伐採による個体数の減少が懸念される。

(写真：佐藤真一 文：堀江道廣)

県内分布 竹田市，大野郡，南海部郡

分布域 本州（近畿地方），四国，九州（熊本・大分・宮崎・鹿児島）